



あれこれできごと



やちよの梨味自慢コンテスト開催 9 / 3

八千代市園芸協会は3日、同市のイオン八千代緑が丘店で「やちよの梨味自慢コンテスト」を開きました。同市産選りすぐりの「豊水」梨46点が集まり、最高賞の八千代市長賞には宮崎貴文さん(41)が輝きました。宮崎さんは「受賞は初めて。消費者に『美味しい』と言ってもらえるのと同じくらい嬉しい」と受賞の喜びを語りました。審査をした千葉県農業事務所普及指導員は「出品された梨の平均糖度は12.5度。外観審査・食味を行い、上位のものは果実の大きさ、果皮色、揃いなどいずれも優れたものだった」と評価しました。会場には沢山の人が訪れ、入賞品の展示や梨の試食販売、子供向けのゲームの他、じゃんけん大会参加券を先着200人に配布し、勝者にはコンテストで上位5位に入賞した梨をプレゼントするなど、大々的なPRを行いました。

1	八千代市長賞 宮崎 貴文さん
2	千葉県園芸協会会長賞 櫻井 正浩さん
3	八千代市議会長賞 宮崎 修一さん
4	千葉県果樹園芸組合連合会長賞 宮崎 徹さん
5	八千代市農業協同組合長賞 江口 政則さん



▲受賞の喜びを語る宮崎貴文さん



▲出品梨の試食販売と直売所マップ



▲宮崎さんの出品した梨♪

親子太巻き寿司教室で夏の思い出を 8 / 21

女性部は21日、同市ふれあいプラザで、JA職員とその子どもを招いて「夏休み親子太巻き寿司教室」を開きました。JA職員とその家族18人が参加し、同部員8人が講師を務めました。同教室は、JA職員と組合員との交流、県の郷土料理の1つである太巻き寿司の作り方を広めることを目的としています。今回の太巻き寿司の絵柄は、「正ちゃん」と「さくらんぼ」の2つ。参加者は、同部員の丁寧な説明を聞き、作る際の注意点を確認した後、具の配置に気を付けながら海苔で巻くなどしました。同教室は今年で3年目。以前参加した親子も多く、手際良く太巻き寿司を作る事が出来ました。巻き終えた太巻き寿司に胸を躍らせながら包丁を入れ、その出来栄えに多くの喜びの声が上がりました。作り手によって違う顔を覗かせる太巻き寿司に、教室内は笑顔で溢れました。

女性部の江野澤真利子部長は「3回目の開催ということもあって、今年はそれぞれのグループごと、親が積極的に教える姿が見られた様に思う。皆が夢中になって作業し、子ども達同士も仲良く交流していた。笑顔でいっぱい夏休みの思い出になったと思う」と語りました。



▲楽しくて思い出に残る太巻き寿司教室となりました♪

